

2019年（令和元年）幾代会 11月観察会

奥多摩 長畑一周コースの一部と多摩川右岸周遊

○ 実施日時 11月3日（日） 天気 晴れ 適度な気温（天気予報は曇り）

○ 集合場所と時間 奥多摩駅 10時 駅トイレ工事中（仮設使用可）

拝島発9:04 → 青梅9:20発 → 奥多摩9:54着

○ 参加者 岡 羽深 越前 石川 太田 中部（6名） 下見 須崎 中部（2名）

○ 観察コース

奥多摩駅 → ビジターセンター（トイレ） → 三本杉 → 氷川小橋 → 登計橋 → 供養塔 →
多摩川右岸 → 南氷川橋手前左折 → 総合運動公園（トイレ）**昼食** → 地藏様と二十三夜塔 → 道
祖神 → 長畑一周コースの一部 → 創造の森を周遊 → 氷川キャンプ場（トイレ） → 昭和橋 →
奥多摩駅 3時08分の電車に乗る。2時ごろ奥多摩駅へ 餃子屋さんに全員入り乾杯。

○ 下見の結果 日原川および多摩川はいずれも濁流の流れである。観察コースは岩盤のむき出しがあり、ところどころコース内に土砂崩れが発生した道である。

○ 持参するもの いつもの小道具と服装 ストック 傘 セーター **昼食は持参**

当日の観察

肝心の案内役が電車の時刻を大間違いして 全員集合したのは予定より30分遅れた。計画通りのコースを歩きピッチが速めに進んだ。日原川の濁りはだいぶ澄んできているが多摩川はまだ濁ったままの流れであった。こうしたことは何を物語るのか。興味深いものがある。11時 昼食を早めにとる。

○ 当日観察された植物（花のあるもの、実のあるものを）以下の通り

○イロハモミジ イタヤカエデ 林の中はほとんど花のあるものは見当たらないが、サラシナショウマ ヤマゼリ。明るいルートに出て ノコンギク イヌタデ ハキダメギク アキノキリンソウ ヤクシソウ
キチジョウソウ ゲンノショウコ コセンダングサ シラヤマギク ノブキ シラネセンキュウ コアカ

ソ フユノハナワラビ シュウメイギク シラヤマキク イヌハウズキ また斜面の一部に モミジガサ ハハコグサ 野葡萄 などが観察された。

ハウノキ トチノキ 欒 アブラチャン チドリノ木 といった樹木の太木や川沿いに伸びた枝が面白い。

詳細は植物の名前から図鑑などで検索して確かめてみてください。

○ **葉の講義** 越前さんによる葉っぱの講義があった。植物が生きる知恵というものだろう。それぞれが生息していくための工夫が様々な条件の中で生息場所を見つけ、種の多様性を育んできた。

○ **餃子屋にて** 話の弾む内容が 三条の湯で働く人を交えてキノコの話やこんにゃくの話などで1時間を過ごした。

報告 中部喜和

12月の観察会は トトロの森を歩きます。

○中部さんによって戴いたまどめに写真を使って追記しました。

越前



ノブドウ

虫こぶが入りパステル

カラーの華やかな実。

食用は不可。



エゾエノキ

荒い鋸歯が葉の全体に

入っている。

エノキの鋸歯は上半分。



モミジガサ

よく似た破れ傘より葉に

艶が有り切れ込みが浅い。赤い実が目立つ。



ヤブコウジ

生木の樹皮を舞台に

実は目の高さ。



ヤクシソウ

イワタバコ

アキノキリンソウ

ペラペラヨメナ

明るい黄色の花が目立った。

さく果は長さ約 1cm の広披 針形で、紡錘形の種子が多数。

茎の先端に黄色い 花が泡状に咲く。

2 - 3 c の花が石垣に咲く。 花は白→ピンク→赤と変化。



ゲンノショウコ

ラッキョウ

シラヤマギク

サラシナショウマ

明るい土手のあちこちで御神輿のような果実と共に見かけた。

山ラッキョウかと思っただが、ラッキョウが逸出したようです。

1 m 前後でひときわ高い。白い花がまばらに咲き、秋の風に揺れる。

ブラシ状の白い花がひと際目立つ。葉は三出複葉。